

ヘレン・ガーナー『グリーフ—ある殺人事件裁判の物語』出版記念会

「『グリーフ』は私たちに何を語りかけるのか

—息子3人殺害容疑裁判を報じたノンフィクションをめぐる豪日作家の対話—

「オーストラリア現代文学傑作選」第6冊目となる今作は、シリーズ初のノンフィクション作品となります。2005年の父の日、別れた妻が親権をもつ息子3人を乗せて運転中に車が貯水池に落ちて、元夫だけが助かり子どもたちが全員溺死した事件。これは不幸な事故なのか、それとも元妻への「復讐」のための故意の殺人なのか。オーストラリア全土を震撼させたこの事件の公判に、独自の鋭い切り口から社会への問題提起を続けるベテラン作家ヘレン・ガーナーが密着し、注目すべき作品『グリーフ—ある殺人事件裁判の物語』を書き上げました。『グリーフ』の日本での刊行を記念して著者ヘレン・ガーナー氏を招き、海外の作家とも幅広い交流をもつ小説家・中島京子氏をゲストに迎えて、トークイベントを開催します。家族と喪失、トラウマ的体験と記憶、複雑な裁判過程で組み立てられる「真実」、小説家でもある著者がノンフィクションに取り組む理由など、『グリーフ』が提起するさまざまな文学的テーマについて豪日屈指の実力派作家が語りあう、貴重な機会となるでしょう。トークのあとにはレセプションパーティを催します。どうぞふるってご参加ください。



ヘレン・ガーナー (Helen Garner)

1942年、ビクトリア州ジロング生まれ。メルボルン大学を卒業後、高校教師の職に就く。1972年、13歳の生徒にカリキュラムにない性教育をしたと州教育省から訴追。この事件で、メルボルン周辺では名が知れわたることになる。1977年、小説『モンキーグリップ』で作家デビュー。若い高校教師のインナータウンにおけるボヘミアンな生活を描いた自伝的な要素をもつ小説で、賛否両論を呼ぶ。当時はオーストラリア人の小説家もまだ少なく、また女性作家は珍しかったこともあり、さまざまな意味から注目を浴びた。同作は1982年に映画化。現在では現代オーストラリア文学における古典的名作のひとつと数えられている。その後も、性と社会的関係、家族という制度の根源を問うテーマの作品を自らや周囲の経験をもとに発表しつづけている。小説や脚本と並行して、ノンフィクション作品を多く手がける。邦訳もある『セクシュアル・ハラスメント (原題: The First Stone)』(1995、邦訳2007)は大学における性的嫌がらせ事件を扱ったもので、当時のフェミニズム運動への批判的な態度を示し、この作品も高評価と同時に大きな非難にもさらされた。2014年に発表した『グリーフ (原題: This House of Grief)』はオーストラリアで知らぬ者はいない事件の公判に取材し、その独自の視点が注目を浴びるとともに、ノンフィクション作品として到達した高い文学性が賞賛を集めた。



中島京子 (なかじま・きょうこ)

小説家。1964年東京生まれ。東京女子大学文理学部史学科卒。編集者を経て2003年『FUTON』でデビュー。2010年『小さいおうち』で直木三十五賞受賞。2014年『妻が権者だったころ』で泉鏡花賞、2015年『長いお別れ』で中央公論文芸賞、『かたづの!』で河合隼雄物語賞、柴田錬三郎賞を受賞。最新作は『樽とタタン』。



日時：2018年11月1日(木) 19:00-21:30 (開場 18:30)

参加費：3,000円(書籍代含む、逐次通訳付き)

第一部 トークセッション

挨拶：バッシュム・ブレイジー オーストラリア大使館首席公使

講演：ヘレン・ガーナー「法へのラブソング」

対談：中島京子×ヘレン・ガーナー

モデレーター 加藤めぐみ(『グリーフ』訳者、明星大学教授)

第二部 レセプションパーティ

会場：ヒルサイドバンケット

東京都渋谷区猿楽町29-10 代官山ヒルサイドテラスC棟

<http://hillsideterrace.com/archive/access/index.html>

〈交通のご案内〉

◆東急東横線「代官山駅」下車 徒歩3分

◆東急東横線・地下鉄日比谷線「中目黒駅」下車 徒歩7分

◆JR山手線・JR埼京線・地下鉄日比谷線「恵比寿駅」下車 徒歩10分

オーストラリア現代文学傑作選第6巻

ヘレン・ガーナー『グリーフ—ある殺人事件裁判の物語』

加藤めぐみ訳 四六版・上製・350頁 2018年11月発売 予価2500円+税
発行＝現代企画室

◆参加には事前申込が必要です。氏名・ご連絡先を明記のうえ、件名を「11月1日 出版記念会参加希望」として10月26日(金)までに gendai@jca.apc.org までメールにてお申込み下さい。

◆問合せ先：現代企画室 tel. 03-3461-5082 mail. gendai@jca.apc.org